

East Japan Railway Worker's Union
Fukushima



JR東労組

福島

第 1742 号

(本年度 28 号)

2018 年 12 月 24 日

発行責任者 安田和広

編集責任者 教宣部

福島県交運労協第27回定期総会

2018 年 12 月 21 日、福島市のラコパ福島において、「福島県交運労協第 27 回定期総会」が開催されました。

交運労協とは正式名称を「交通運輸産業労働組合協議会」といい、陸海空の交通運輸産業の各単組単産が結集し、物流観光交通政策の問題点の議論や、政策制度提言、要求行動等を通じて交通運輸労働者の社会的地位向上にむけて取り組み、ナショナルセンター連合とも密接な関係を持っている労働者の産別組織です。

今回の総会では、福島県交運労協の議長である安田和広議長(福島支部委員長)は、冒頭「交通運輸産業を取り巻く環境は厳しさを増しているが、安全安心出来る政策制度の実現にむけて県交運 3500 名の仲間と共に作り上げていこう」と挨拶し、その後、2018 年運動方針等が議論され「人と環境に優しい輸送サービスと魅力ある交通運輸産業の確立にむけて取り組む」とした総会宣言を採択し終了しました。

今回の総会において、永年議長をしてこられた安田議長が議長より退任し副議長として新たに就任しました。また阿部孝弘(福島支部書記長)が、幹事として再任しました。

政策制度要求実現、鉄道の諸課題解決に向けて

JR総連・JR東労組はしっかりと交運労協の仲間と連携し取り組みます！

